

昨年度に引き続き特定外来植物「オオバナミズキンバイ」の2回目の除去作業を実施しました。

特定外来植物「オオバナミズキンバイ」は、南アメリカ大陸などを原産とする水生植物で、旺盛な繁殖力により水上・水中にかかわらず繁茂を広げ、他の植物の生育を阻害する**侵略的な外来植物**です。日本でも琵琶湖などで近年定着し、**急速に分布面積を拡大**しており、在来植物の駆逐など生態系に係る被害が発生して**地域の問題**となっています。

オオバナミズキンバイの**完全除去には根の部分からていねいに抜き取り、ちぎれた茎や葉の回収が必要**となるため、人力を主体とした**手作業による除去作業**が重要になってきます。

前回除去作業に引き続き、茨城県や土浦市、水機構等などの地元関係機関の協力により2回目の除去作業を実施しました。



写真-2：繁茂状況

日 時

・平成30年10月1日（月） 9：00～12：00

場 所

・茨城県土浦市田村町地先【霞ヶ浦(西浦) 中岸5.0km付近】

参加者

- ・東邦大学学生
- ・茨城県（生活環境部・霞ヶ浦環境科学センター・自然博物館）
- ・土浦市（市民生活部）
- ・国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構
- ・独立行政法人水資源機構（利根川下流総合管理所）
- ・一般参加者
- ・霞ヶ浦関連の業務に関わる方
- ・国土交通省（霞ヶ浦河川事務所）



写真-1：除去作業の参加者

計37名

除去作業は人力・手作業で根本から残らず抜き取りました。

特定外来に指定されている生物は、その繁殖力が旺盛で、拡大・蔓延を防止するためには、**侵入の初期段階で確実に除去**することが必要です。今回は、1回目の繁殖面積よりも4分の1程度に減少し、初期段階で除去する重要性が確認できました。

霞ヶ浦の自然を外来生物の侵略から守るために、作業に参加して下さった皆様ありがとうございました。



写真-3 : 水中作業



写真-4 : 引き上げ作業



写真-5 : 作業前



写真-6 : 水際調査



写真-7 : 運搬作業



写真-8 : 作業後

現況報告及び今後の対応方針



現況報告

- ・ 3月時点では確認されていません。

今後の対応方針

- ・ 地元関係機関と協力したモニタリングの実施及び情報共有の実施。
- ・ 発見初期段階での協同による除去作業の実施。

撮影：茨城県ミュージアムパーク

平成30年11月6日に小規模な除去作業を実施